記者発表資料

平成２２年４月２８日
酒田河川国道事務所

トンネル出入り口部の照明灯を減灯する試験的な取り組み
～道路維持管理費のコスト縮減～

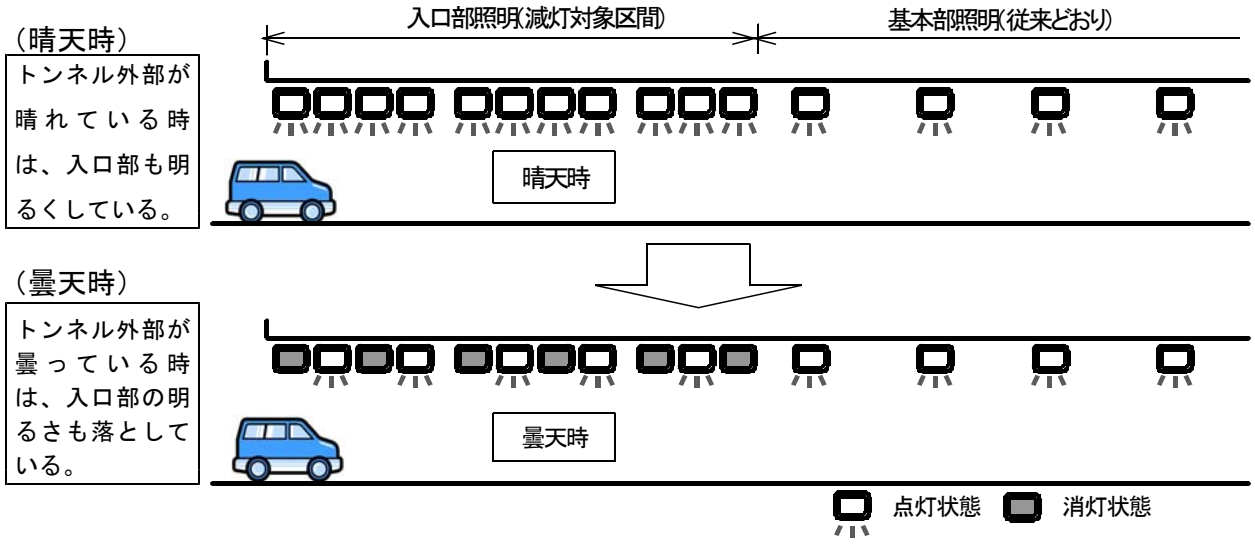
酒田河川国道事務所では、道路維持管理費のコスト縮減の取り組みとして、管内のトンネル出入り口部に限定した道路照明灯の減灯を試験的に実施しております。

なお、今後、道路利用者の意見を伺いながら試験期間中の減灯による影響を把握したうえで恒久的な対応を判断していく予定です。

当事務所では国道７号、４７号、１１２号の維持管理について、これまでコスト縮減を図りながら適切な維持管理に努めてまいりました。しかし、公共事業の予算の縮減に伴い、道路維持管理費についても更なる削減が求められております。

その一環として、管内のトンネル出入り口部に限定した道路照明灯の減灯を試験的に実施しております。

トンネルの入り口部は、運転者がトンネル内の明るさに対して順応の遅れを軽減する為、外部の明るさによって照明灯の点灯数を自動的に変えております。（出口部も同様）



これに対して本取り組みでは常時曇天時の点灯状態(晴天時でも曇天時の点灯状態)とすることで、電気料の縮減を図ります。なお、トンネル内部（出入り口部以外）は従来どおりの明るさです。

〈発表記者会〉県庁記者クラブ、酒田記者クラブ、鶴岡記者会

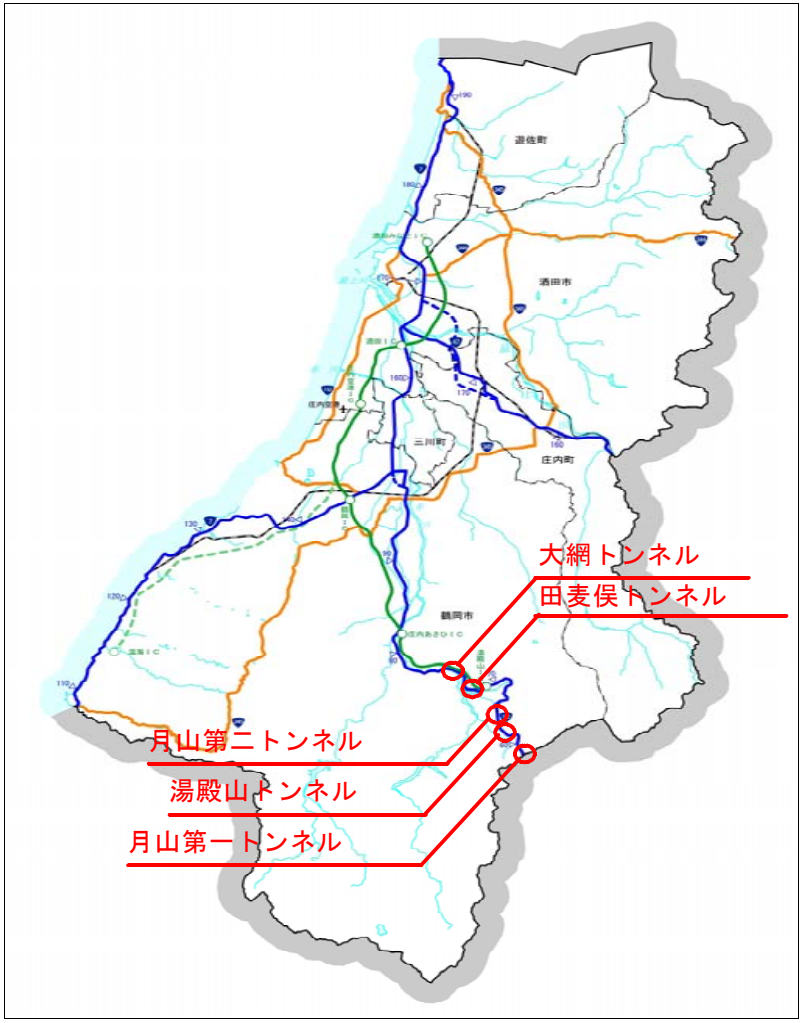
お問い合わせ先

酒田河川国道事務所	TEL	０２３４－２７－３３３１（代表）	
副所長（道路担当）	堀	喜代志（ほり　きよし）	（内線２０５）
道路管理課長	本木	雅信（もとき　まさのぶ）	（内線４３１）
防災課長	大入	敏夫（おおいり　としお）	（内線２８１）

別紙－１

酒田河川国道事務所

トンネル照明灯減灯による電気料金の縮減について



●実施内容

トンネル坑口部における道路照明灯減灯の実施

国道112号－月山第一トンネル
－湯殿山トンネル
－月山第二トンネル
－田麦俣トンネル
－大網トンネル



国道１１２号　湯殿山トンネル